

新刊案内



『小説落第忍者乱太郎ドクタケ忍者隊最強の軍師』		
尼子 騷兵衛/原作 イラスト 阪口 和久/小説	朝日新聞出版	T/サカ
『杯』 乙女の本棚		
森 鷗外/著	立東舎	T/モオ
『やなやつ改造計画』		
吉野 万理子/著	あすなろ書房	T/ヨマ
『ぼくたちはChatGPTをどう使うか 14歳から考えるAI時代の学び』		
東大カルペ ディエム/著	三笠書房	T007/ホク
『大人に言えない小さな悩みが少しだけ軽くなる本』 第1巻		
田村 節子/監修	Gakken	T146/オト
『医師になるには』		
辻村 達哉/著	ベリかん社	T366/ツタ
『自分ゴトとして考える難民問題 SDGs時代の向き合い方』		
日下部 尚徳/著	岩波書店	T369/クナ
『13歳からのグラレコ 図と絵で整理しひらめきを生む 学びを楽しむノート術』		
樋口 美由紀/著	メイツユニバーサルコンテンツ	T375/ヒミ
『女子中高生が教える男子にも知ってほしい生理の話 いちばん身近な多様性理解のために』		
高橋 幸子/監修	Gakken	T495/シヨ
『緋弾のARIA ゼロの帰隊』 42		
赤松 中学/著	KADOKAWA	TB/アチ
『メイジアン・カンパニー 魔法科高校の劣等生 続』 9		
佐島 勤/著	KADOKAWA	TB/サツ
『涼宮ハルヒの劇場』		
谷川 流/著	KADOKAWA	TB/タナ



ティーンズのココロ通信

令和7年4月1日 発行

Eメール : info@lib-yama.jp

HP : <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館

256 号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL : 083-901-1040

FAX : 083-901-1144



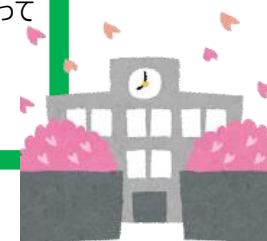
はじまり



今月のテーマは「はじまり」です。

4月には「はじまり」の季節です。新入学、クラス替えなどで期待と不安でいっぱいの方も多いのではないのでしょうか？

「ティーンズのココロ通信」は山口市立中央図書館が発行している中高生向けの広報誌です。毎月テーマに沿っておすすめの本を紹介していますので、ぜひ本を手にとってみてくださいね。



●『F ができない』

升井 純子／作

文研出版

T／マン

地味で引っ込み思案な直大にとって中学生生活のスタートは大きな壁だった。案の定、自己紹介では緊張してうまくいかず、落ち込んでしまう。そんな直大の心の支えは、お兄ちゃんにもらったギター。ギターコードを1つ、また1つと覚えていく度に少しずつ自信がわいてきた。そして、そのギターが縁で友だちができ、なんと彼らと文化祭でバンド演奏をすることになる。新学期、新しい環境に戸惑っている人がいたら是非読んでみてください。(H. S)

●『文豪誕生 7 人の文豪たちのデビュー作・出世作』

芥川 龍之介 他／著

新紀元社

T913／フン

皆が知っているあの文豪のデビュー作・出世作が1冊にまとまりました。有名になるまでの道のりや詳細なデータベース、直筆原稿、聖地巡礼情報なども収録されているので、作品だけでなく、作家本人への理解が深まる本となっています。その中でも略年表は、作家同士の関係性や時系列が分かりやすく、とても見ごたえがありました。作品好きの方はもちろんですが、作家本人に興味がある方にはとくにおすすめの1冊となっていますよ。(S. E)

●『サクラ咲く』

辻村 深月／著

光文社

T／ツミ

中学1年生の塚原マチは、自分の想いを口にするのが苦手で、なりたかった図書委員になれず、気になっていた陸上部に入ることもできませんでした。そんな自分をもどかしく感じていましたが、図書室の本に挟まっていた「サクラチル」というメモから始まる文通のようなやりとりやクラスメイトの守口みなみ・海野奏人たちとの関わりを通して、少しずつ変わっていきます。新生活がスタートした時期の期待と不安の入り混じった気持ちが感じられる、瑞々しさに溢れた1冊です。(R. S)

●『うたうとは小さいのちひろいあげ』

村上 しいこ／著

講談社

T／ムシ

高校1年生になった桃子は、不登校になった親友綾美を思い、新しく友達を作ろうとしなかった。ところが、ひょんなことから入部した「うた部」で個性的な先輩たちに囲まれ少しずつ心を開いていく。そして綾美も「うた部」に入部し、短歌甲子園の県予選では二人で1首の短歌を完成させる連歌を詠むことになる。「うたうとは小さいのちひろいあげ」と詠んだ桃子の上の句に綾美の付けた下の句は？桃子と綾美の新しい友情の物語がはじまる。(H. S)

●『よろず占い処陰陽屋へようこそ』

天野 頌子／著

ポプラ社

TB／アシ

狐の耳と尻尾を持った化け狐である、中学生の瞬太。家族以外にはそのことを隠してきたのに、ひょんなことから自称陰陽師の怪しい男、祥明にそのことがバレてしまいます。その結果、祥明の経営する占いの店でバイトをすることになってしまいました。しかもお店には占いで解決出来なさそうな依頼ばかり舞い込んできて…果たして、イケメン偽陰陽師とへっぼこ化け狐のコンビは、舞い込む依頼を解決することができるのでしょうか。(S. E)

●『魔女の宅急便』

角野 栄子／作

福音館書店

K／カエ

13歳の少女キキは魔女修行のため、満月の夜に黒猫ジジと箒に乗って旅立ちました。海辺の町コリコに着き、グーチョキパン屋というお店の一角で自立に向けて動き出します。彼女がひとり立ちのために始めたのは、箒を使って空を飛び荷物を届ける、その名も「魔女の宅急便」。いろいろな物をいろいろな相手へ届けていく中で、時には落ち込みながらも前向きに頑張り成長していくキキの姿に胸が熱くなります。新天地での、特技をいかした開業。貴方なら何を始めてみたいですか。(R. S)